

No.2510

朝鮮人学徒兵出身者の口述記録の収集とその整理

一橋大学大学院社会学研究科 博士後期課程

秋岡あや

本研究の目的は、朝鮮人学徒兵出身者の口述記録を収集し、その整理を行うことである。朝鮮人学徒兵に関する研究は、これまで官憲史料、新聞、回顧録などの文献資料の分析を中心に行われてきた。しかし、文献史料の限界を乗り越え、より豊かな歴史像を復元するためには、口述史料の収集と整理が不可欠である。

調査研究の内容は、次の二つである。第一に、韓国に長期滞在して元学徒兵の方々への聞き取り調査を行うこと、第二に、録音記録を文字に起こし資料集および論文として整理することである。

調査の方法は、以下の手順で行った。

1) 聞き取り調査

①調査依頼：まず、日本のわだつみ会（元日本人学徒兵の団体）と韓国の 1・20 同志会（元朝鮮人学徒兵の団体）の協力の下、元学徒兵の方（忌避して徴用、徴兵された方も含む）に調査を依頼する。

②事前調査：次に、語り手に関する著書、論文、史資料などを収集、整理して、質問用紙を作成する。

③聞き取り調査：調査は、語り手 1 名、聞き手 1 名（必要な場合、通訳などの調査協力者 1 名）で行う。場所は語り手の自宅などで、時間は 2 時間程度。語り手の許可を得て、会話を録音し、写真撮影を行う。質問内容は、姓名、生年月日、本籍、家族関係、学歴、動員課程、軍隊生活、帰還、解放後の活動歴、職歴など。関連する著書、論文、史資料のある場合は、それに関する質問も行う。

2) 録音記録の整理

①文字起こし：まず、録音記録を文字に起こし、公開に関する交渉を行う（公開・限定公開、非公開）。

②資料集作成：次に、公開および限定公開の許可を得た場合は、資料集として校正、印刷、製本する。録音記録と資料集は、わだつみ会のわだつみのこえ記念館に寄贈して保管していただく。

③論文執筆：録音記録のうち、研究史上重要な内容の含まれるものは、語り手の許可を得て、学術論文・学位論文などのかたちで公表する。また、論文に整理する際、必要に応じて再調査を行う。

2. 研究成果

2010 年 11 月から 2015 年 3 月現在までに、合計 17 名の聞き取り調査を行い、うち 4 名の録音記録を文字に起こして整理した。資料集と論文の執筆も進めている。